

# Japaniace

2026年11月期 第2四半期決算説明会資料

ジャパニース株式会社(証券コード:9558)

2026年7月6日

# Contents

- 01 業績ハイライト
- 02 中期経営計画の進捗

01

業績ハイライト

## エグゼクティブサマリー

- ✓ M&Aの効果による増収も、一時的な費用増および一部大型案件の工数増により減益
- ✓ 業績予想の達成に向け、事業基盤の強化と収益性改善の取り組みを推進

## 売上成長



売上高

6,469百万円

前年同期比

+11.3%

- コプロテクノロジー社から承継したSES事業が寄与し、二桁成長を維持
- エンジニア数の増加および一人当たり売上高の向上が貢献

## 利益動向



経常利益

292百万円

前年同期比

-29.1%

- M&A関連費用の計上(82百万円)が影響
- 一部大型案件において想定を上回る工数が発生
- 大口顧客からの需要急減により一時的に待機コストが発生

## 成長基盤

エンジニア数  
(2Q末時点)

2,002名

過去最高を更新

フリーランスエンジニアの求人情報サイト

Prime Freelance

新たなフリーランス支援サービスを開始

- M&Aの実績により人員基盤をさらに拡大
- ビジネスパートナー人数も着実に増加
- 需要拡大に対応する供給体制を強化

## 通期見通し



通期業績予想

据え置き

- M&A関連費用の大半は2Qまでの一時的な費用
- 大型案件の追加工数は収束見込
- 需要動向を踏まえた採用と待機者の早期稼働を推進

## 業績サマリー

✓ M&Aの効果もあり売上は前年比二桁成長を維持。利益については、M&A関連費用に加え一部大型案件の工数増により前年比減益

(単位:百万円)

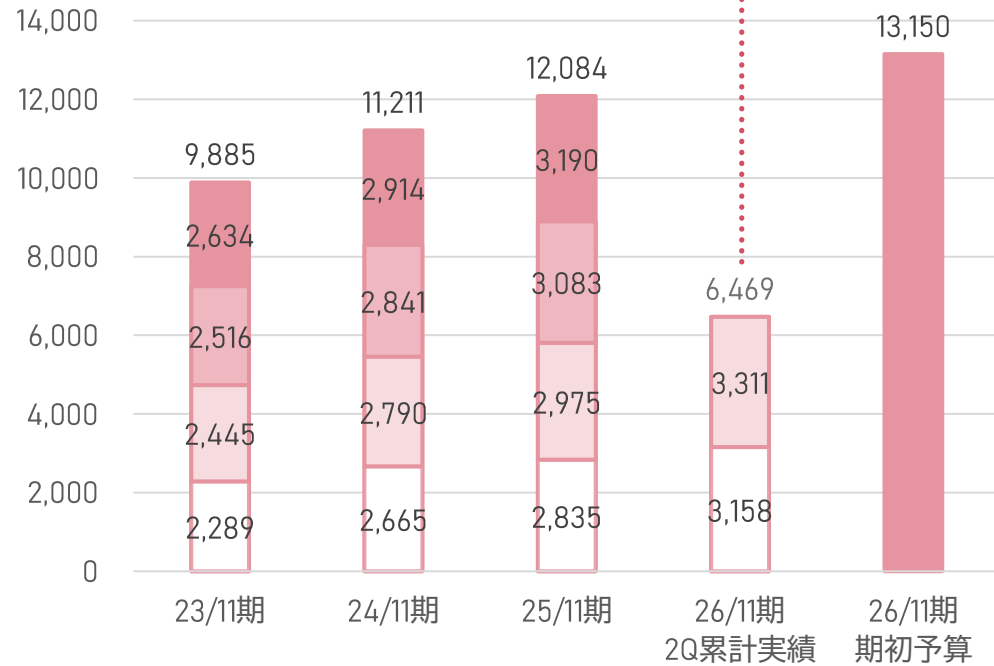
	2025年11月期 第2四半期累計実績	2026年11月期 第2四半期累計実績	前年同期比		2026年11月期 業績予想 (期初)	進捗率
			増減額	%		%
売上高	5,810	6,469	659	+11.3%	13,150	49.2%
売上総利益	1,455	1,351	-103	-7.1%	3,190	42.4%
営業利益	346	222	-123	-35.6%	1,035	21.4%
経常利益	412	292	-120	-29.1%	1,120	26.1%
純利益	272	193	-78	-28.8%	785	24.6%

## 売上高と経常利益

- ✓ 売上高はコプロテクノロジー社から承継したSES事業の開始により前年比で+11.3%、経常利益は計画外のコスト負担が大きく前年比で-29.1%

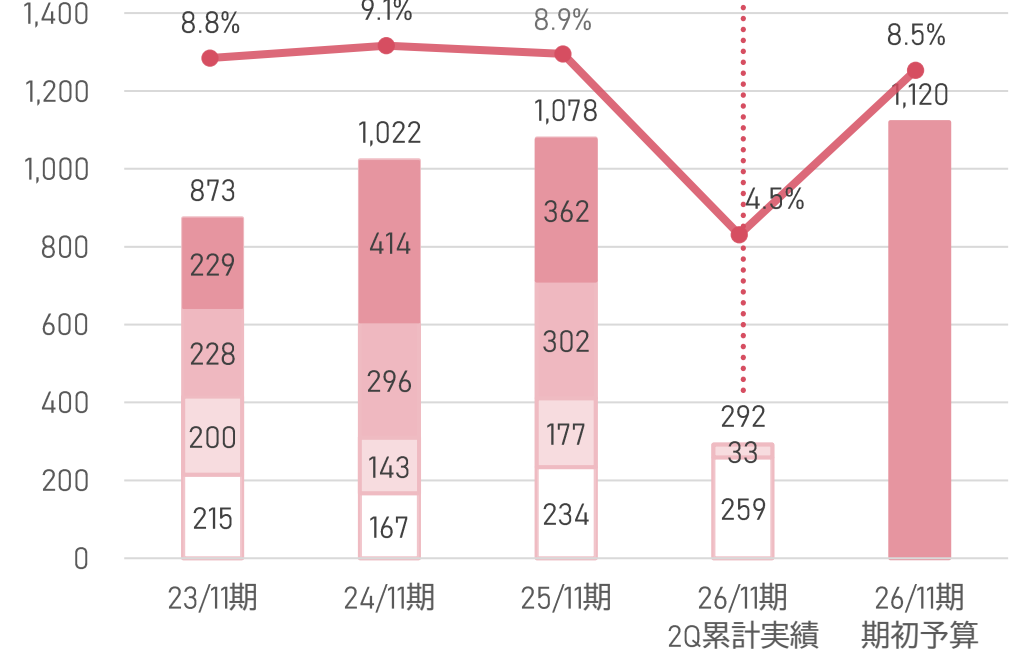
### 売上高

(単位:百万円)



### 経常利益

(単位:百万円)

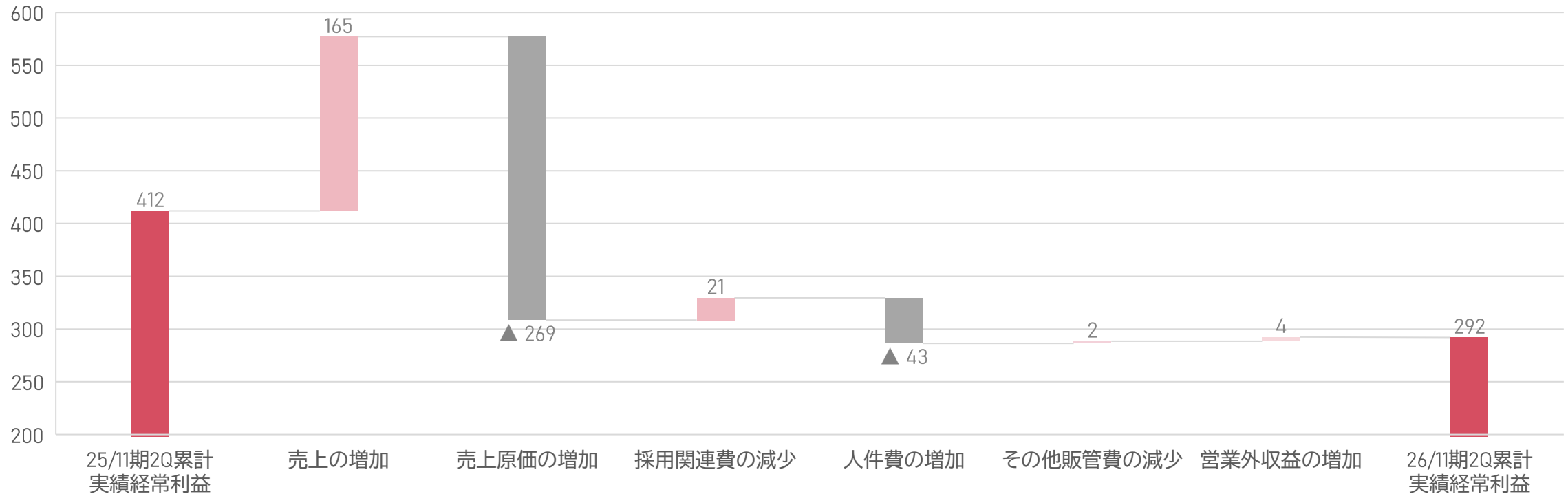


## 経常利益の増減分析

- ✓ コプロテクノロジー社からのSES事業承継に関する費用の大半を計上(82百万円)
- ✓ 一部の大型案件において想定を上回る工数が発生。そのため新システムへの移行時期を見直したことにより既存システムの維持費用が増加
- ✓ 大口顧客からの需要が急減したことに伴い、エンジニアの待機コストが一時的に発生

### 2026年11月期 第2四半期 前年同期比利益推移

(単位:百万円)



## 損益計算書

- ✓ 売上原価の増加に加え、製販区分の一部見直しにより売上総利益が前年比で減少

(単位:百万円)

	2025年11月期 第2四半期累計実績	2026年11月期 第2四半期累計実績	前年同期比
売上高	5,810	6,469	+11.3%
売上原価	4,355	5,118	+17.5%
売上総利益	1,455	1,351	△7.1%
売上総利益率	25.0%	20.9%	
販売費及び一般管理費	1,109	1,128	+1.8%
営業利益	346	222	△35.6%
営業利益率	6.0%	3.4%	
営業外収益	67	72	+6.8%
営業外費用	1	2	+146.4%
経常利益	412	292	△29.1%
経常利益率	7.1%	4.5%	
税引前当期純利益	412	292	△29.1%
法人税等	140	98	△29.7%
当期純利益	272	193	△28.8%
当期純利益率	4.7%	3.0%	

## 貸借対照表

- ✓ M&Aの実施により、取得の対価として現金602百万円を支払ったことで現金及び預金が減少し、固定資産が増加

(単位:百万円)

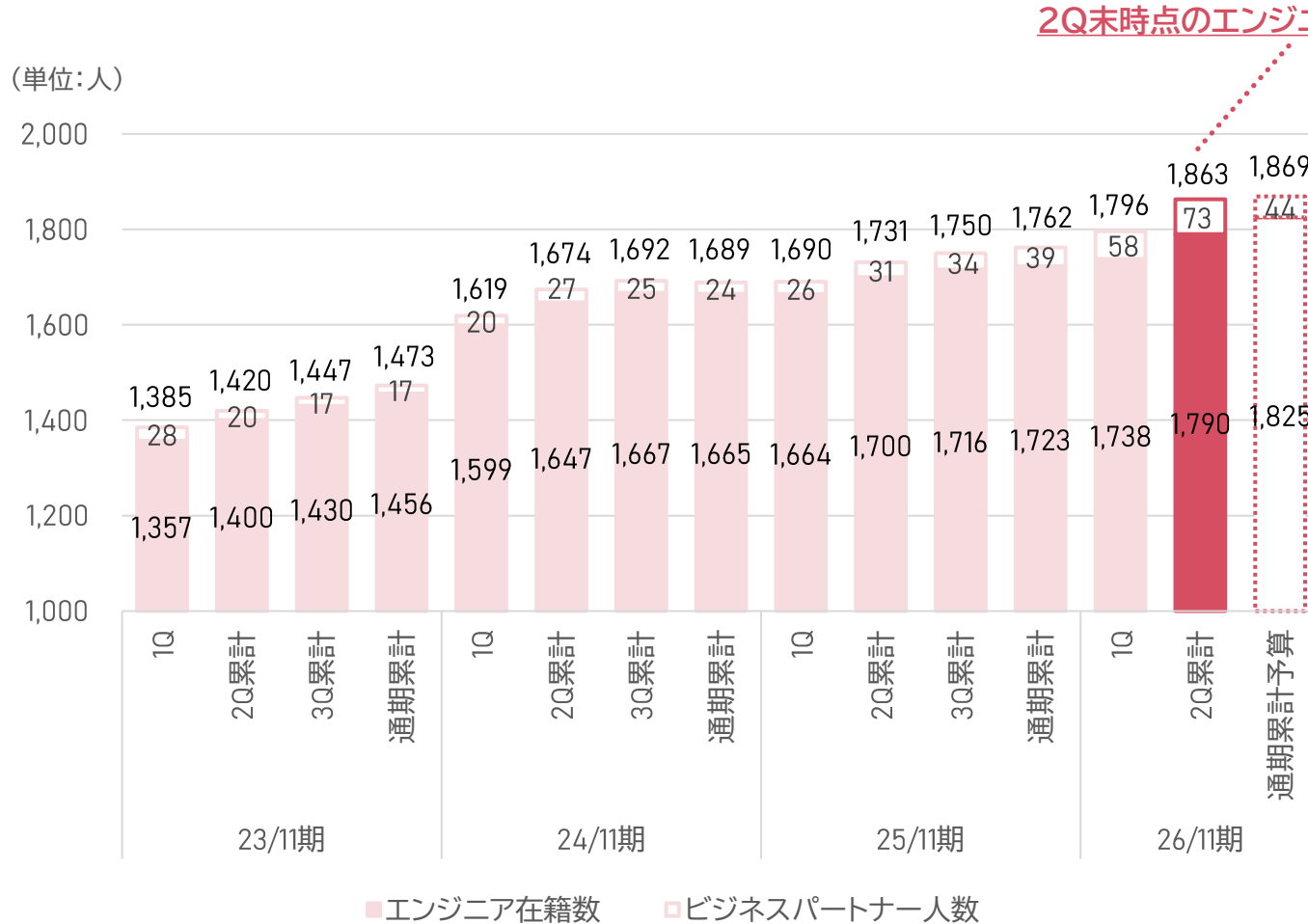
	2025年11月期 実績	2026年11月期 第2四半期実績
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,691	3,070
売掛金及び契約資産	1,622	1,574
流動資産合計	5,357	4,723
固定資産		
有形固定資産	66	74
無形固定資産	11	410
投資その他の資産	351	570
固定資産合計	428	1,055
資産合計	5,786	5,779

	2025年11月期 実績	2026年11月期 第2四半期実績
負債の部		
流動負債		
短期借入金	300	125
未払費用	928	1,052
流動負債合計	2,194	2,191
固定負債		
固定負債合計	212	212
負債合計	2,406	2,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	23	23
利益剰余金	3,369	3,365
自己株式	△101	△101
株主資本合計	3,379	3,375
純資産合計	3,379	3,375

## 重視する経営指標① エンジニア数

✓ M&Aによる人員増加も寄与し、2Q末時点のエンジニア数は2,002名と過去最高を更新。需要拡大に対応する供給体制を強化

### エンジニア数



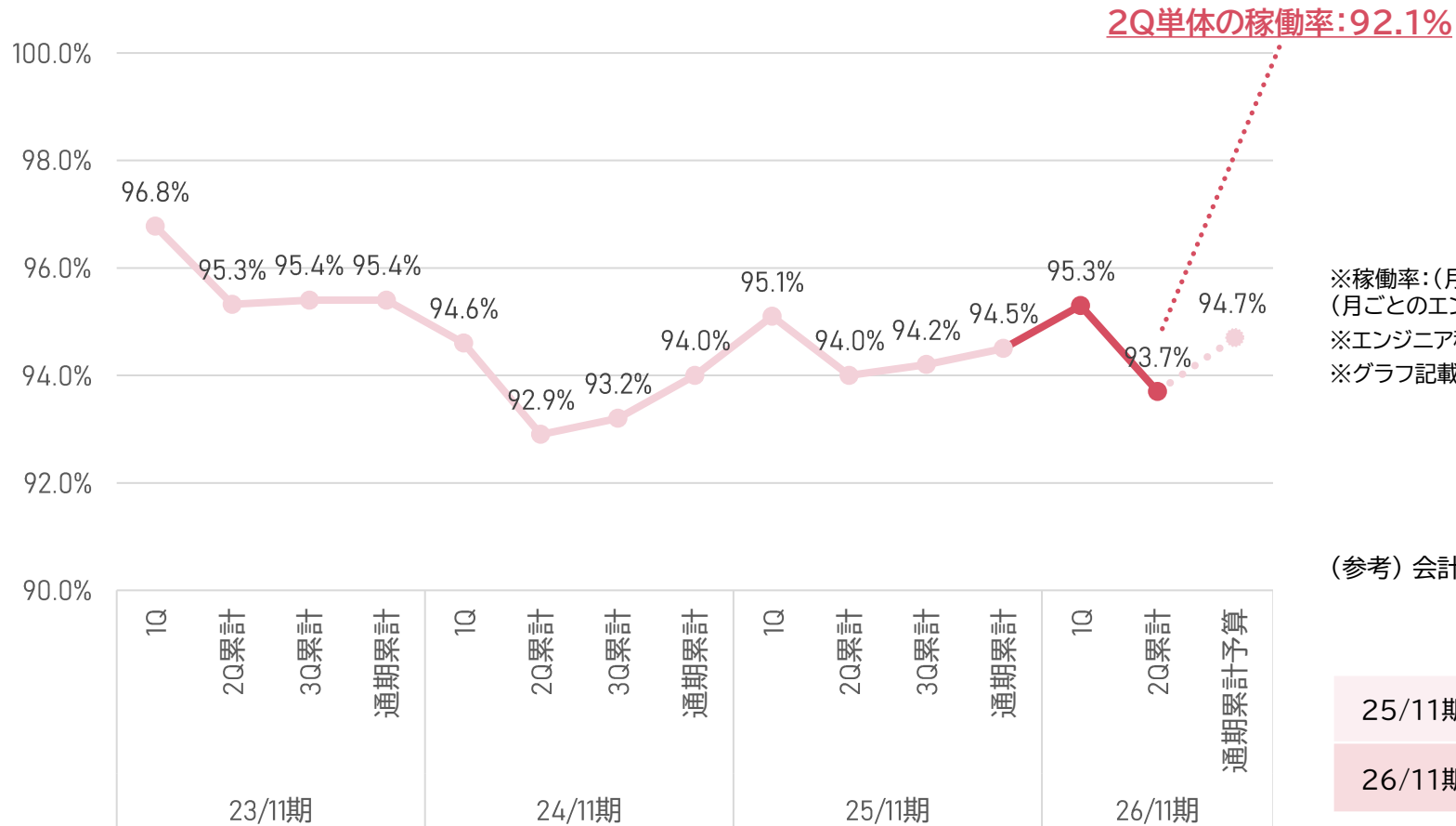
※エンジニア数:エンジニア在籍数+ビジネスパートナー人数  
 ※エンジニア数には臨時従業員を含む  
 ※グラフ記載の数値は期中平均の値

(参考) 四半期末時点のエンジニア数

		(単位:名)			
		1Q	2Q	3Q	4Q
25/11期	合計	1,710	1,812	1,782	1,788
	エンジニア在籍数	1,678	1,772	1,739	1,731
	ビジネスパートナー人数	32	39	43	57
26/11期	合計	1,816	2,002		
	エンジニア在籍数	1,755	1,898		
	ビジネスパートナー人数	61	104		

## 重視する経営指標② 稼働率

✓ M&Aにより増加したエンジニアも着実に稼働し累計では前年並み。大口顧客からの需要変動により待機期間が生じたことで2Q単体では一時的に低下



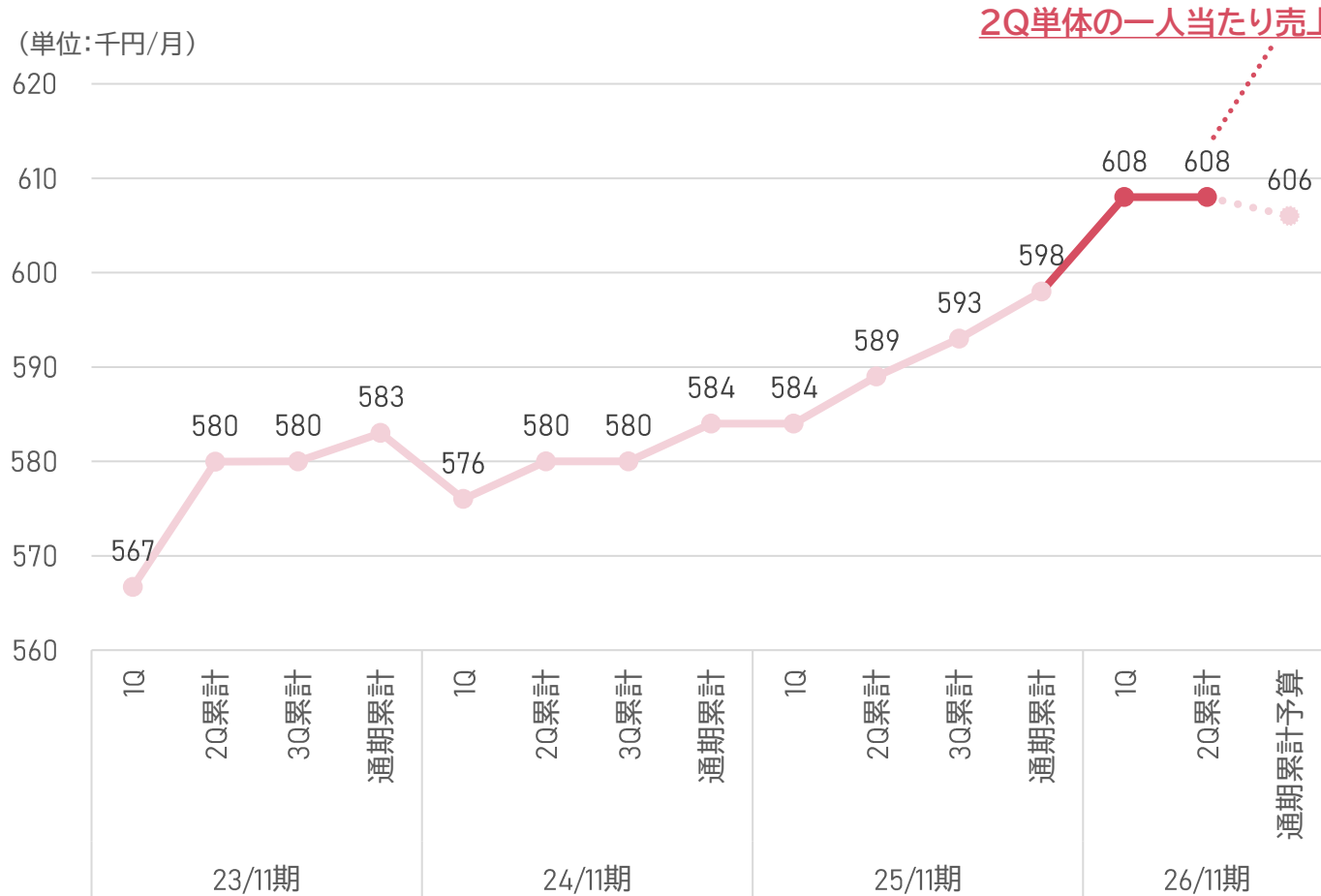
※稼働率: (月ごとのエンジニア稼働数+ビジネスパートナー稼働数の合計) ÷ (月ごとのエンジニア在籍数+ビジネスパートナー人数の合計) × 100  
 ※エンジニア稼働数には臨時従業員を含む  
 ※グラフ記載の数値は期中平均の値

(参考) 会計期間毎の稼働率

	1Q	2Q	3Q	4Q
25/11期	95.1%	93.0%	94.2%	95.6%
26/11期	95.3%	92.1%		

### 重視する経営指標③ 一人当たり売上高

✓ 高単価案件の獲得および継続的な単価交渉により前年比では向上。



※一人当たり売上高:累計期間の売上高÷(月ごとのエンジニア稼働数+ビジネスパートナー稼働数の合計)  
※グラフ記載の数値は期中平均の値

(参考) 会計期間毎の一人当たり売上高 (単位:千円/月)

	1Q	2Q	3Q	4Q
25/11期	584	593	601	614
26/11期	608	608		

## 業績予想

- ✓ 一部大型案件の追加工数は収束見込。需要動向を踏まえたエンジニアの確保と待機期間の短縮により収益性の改善を図ることから業績予想は据え置き

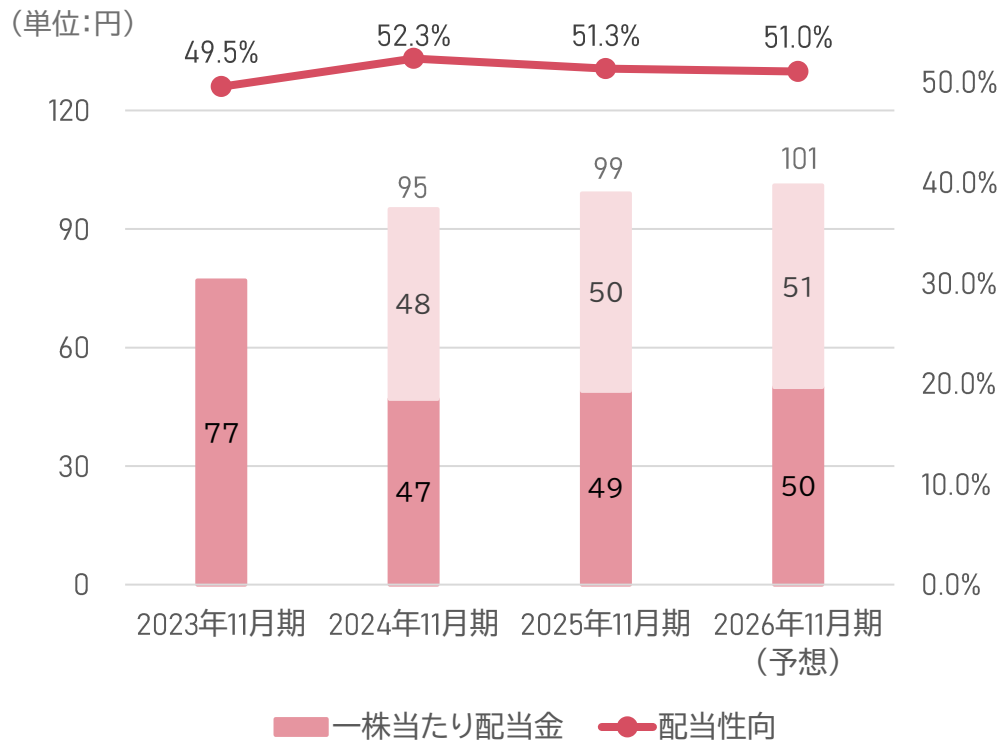
(単位:百万円)

	2025年11月期 実績	2026年11月期 見通し	前年同期比	
			増減額	%
売上高	12,084	13,150	1,065	+8.8%
売上総利益	2,900	3,190	289	+10.0%
営業利益	982	1,035	52	+5.3%
経常利益	1,078	1,120	41	+3.9%
純利益	765	785	19	+2.6%

## 株主還元

- ✓ 配当予想通り50円の間配当を実施。配当方針である配当性向50%を堅持し、継続的な増配を計画

## 配当金・配当性向の推移



(単位:円)

	2023年11月期	2024年11月期	2025年11月期	2026年11月期 (予想)
一株当たり 当期純利益	155.52	181.51	193.09	198.05
一株当たり 配当金	77.00	95.00	99.00	101.00
配当性向	49.5%	52.3%	51.3%	51.0%

02

中期経営計画の進捗

## 方針に基づいた施策を推進

### 新たな成長要素

#### 新しい取り組み

- ✓ M&Aの推進による新規領域の獲得、事業シナジーの創出
  - ✓ 資本・業務提携などによる新たなビジネスパートナーの開拓
  - ✓ 新規事業への継続的な挑戦による事業化の実現
- コプロテクノロジー社のSES事業承継によりエンジニア数が100名以上増加
  - アルトナー社との事業提携は着実に進展

### 既存事業の拡大・強化

#### 重視する経営指標の達成

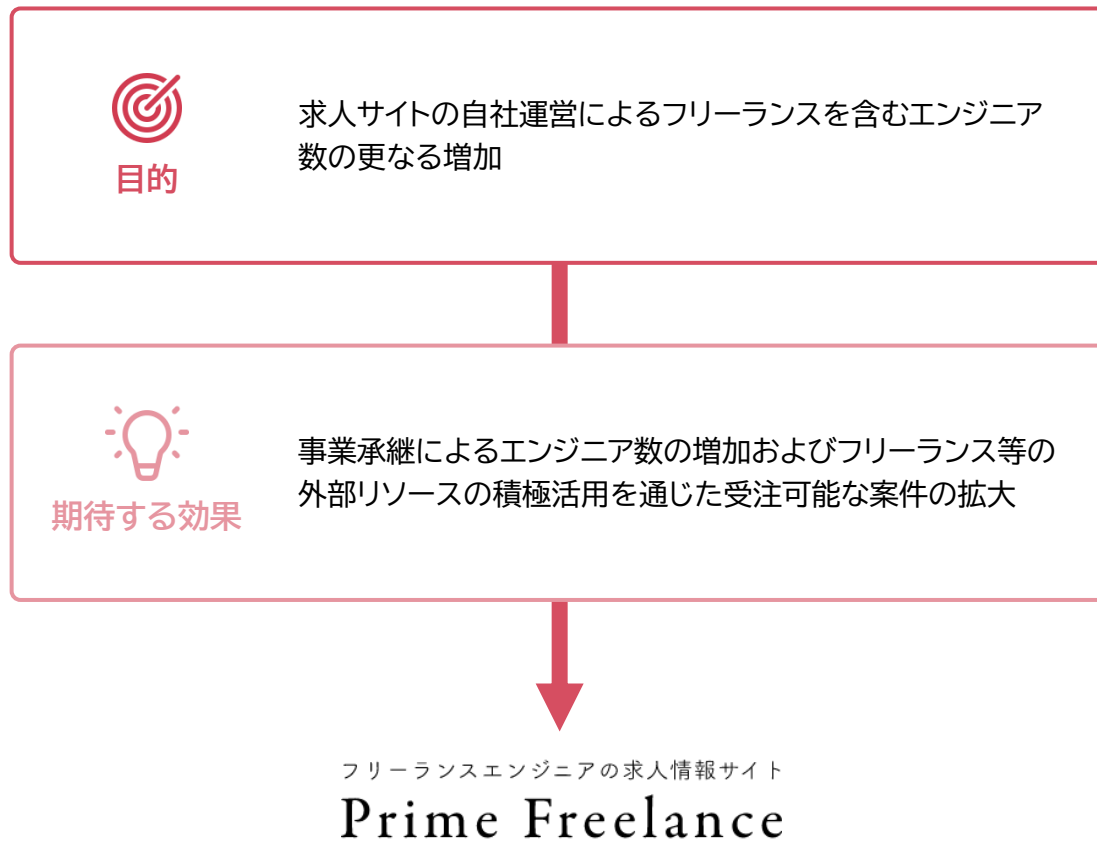
- ✓ 外部リソースの積極活用によるエンジニアの増強
  - ✓ エンジニアの高稼働率維持と定着率向上の両立
  - ✓ 継続的な一人当たり売上高の向上
- 求人サイトを通じたフリーランスの活用
  - 一部大型案件で想定以上の工数が発生

#### 基盤強化に向けた投資

- ✓ 人材育成や制度基盤への投資による人材基盤の強化
  - ✓ 事業運営の高度化・効率化を目的としたIT投資の拡充
  - ✓ エリア拡大および拠点配置の最適化に向けた投資の継続
- 「健康経営優良法人2026」認定
  - 2億円規模の自社株買いを実施

## 新たな成長要素 M&Aの推進 -事業承継-

- ✓ コプロテクノロジー社より承継した事業を開始。フリーランス向け案件紹介サイトは新たに「Prime Freelance」として始動



2026年6月18日に新ブランド「Prime Freelance」をオープン

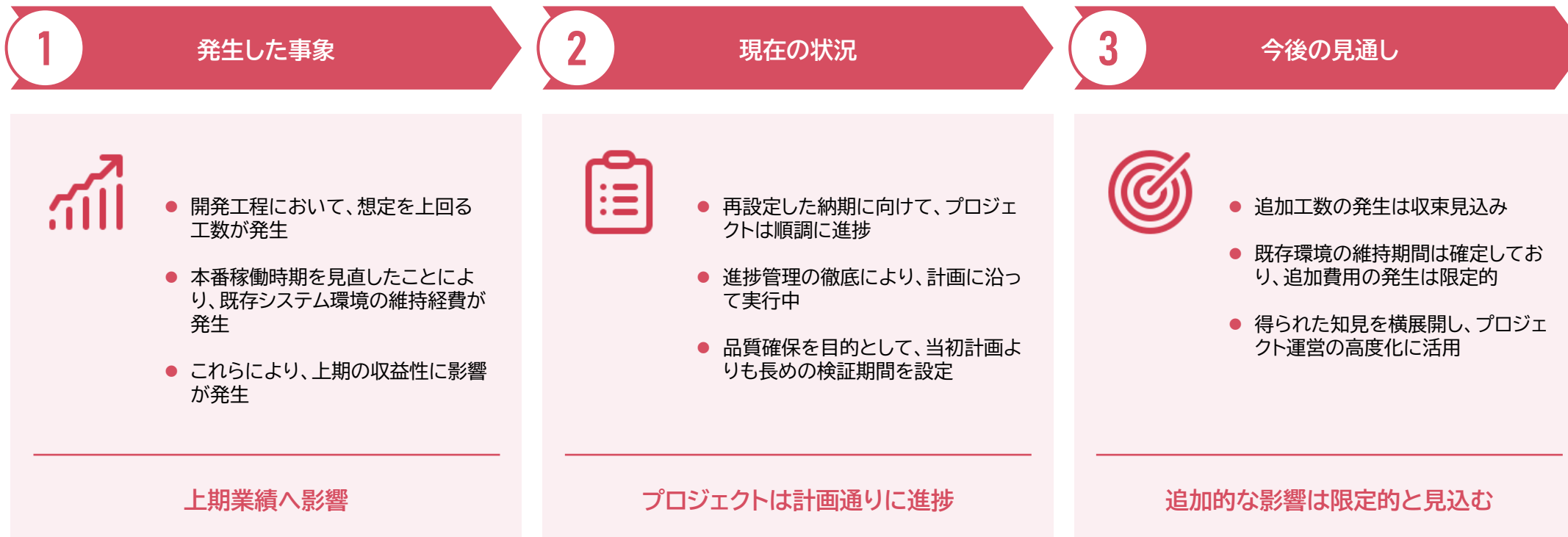


### ✓ Prime Freelanceの特徴

- ITエンジニアのキャリアに寄り添う案件紹介サービス
- 多様な案件から希望条件に合った案件を提案
- 専任アドバイザーによる伴走型サポート
- 長年培われたサービス基盤とノウハウ

## 既存事業の拡大・強化 継続的な一人当たり売上高の向上

- ✓ 一部大型案件で想定を上回る工数が発生しているものの、現在は再設定した納期に向けて順調に進捗



今回の対応で得られた知見を他案件へ展開し、プロジェクト運営の高度化につなげる

## 基盤強化に向けた投資 自己株式の取得

- ✓ 持続的な成長および資本効率の向上を目的とした自己株式の取得を実施



目的

- 中期経営計画の達成に向けた機動的な資本政策
- 資本効率の向上
- 株主還元の更なる充実



期待される効果

- 中長期的な資本政策の柔軟性向上
- 一株当たり指標の改善

### 取得に係る事項の内容

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	120,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合3.0%)
株式の取得価額の総額	200,000千円(上限)
取得期間	2026年7月7日～2026年11月30日
取得方法	東京証券取引所における市場買付

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。

これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。